



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

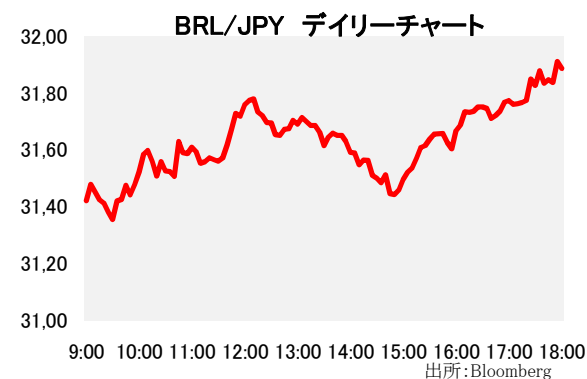
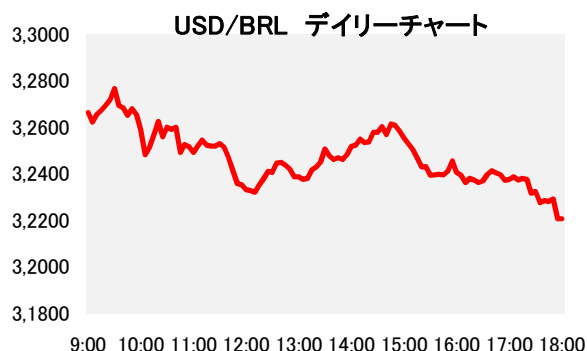
1. マーケット・レート

			6月23日	6月24日	6月27日	6月28日	6月29日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.3370	3.3740	3.3920	3.3030	3.2200	-0.0830
	BRL/JPY	Spot	31.81	30.27	30.06	31.11	31.89	+0.78
	EUR/USD	Spot	1.1398	1.1116	1.1022	1.1067	1.1123	+0.0056
	USD/JPY	Spot	106.19	102.20	101.96	102.76	102.85	+0.09
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.783	13.736	13.662	13.868	13.895	+0.027
	Future	1Year(p.a.)	13.163	13.099	13.024	13.214	13.290	+0.076
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.291	2.898	3.158	3.234	2.675	-0.559
	USD	1Year(p.a.)	3.196	3.027	3.282	3.260	2.996	-0.264
株式	Bovespa指数		51560	50105	49246	50007	51002	995
CDS	CDS Brazil 5y		320.89	344.84	347.14	334.08	320.11	-13.97
商品	CRB指数		193.524	188.689	187.568	191.545	194.636	+3.09

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGVインフIGPM(前月比)	1.48%	1.69%	0.82%
FGVインフIGPM(前年比)	12.00%	12.21%	11.09%
全国失業率	11.4%	11.2%	11.2%
基礎的財政収支	-15.8b	-18.1b	10.2b
Nominal Budget Balance	-54.0b	-60.6b	-13.2b
純債務対GDP比	39.5%	39.6%	39.4%
(米)MBA住宅ローン申請指数	--	-2.6%	2.9%
(米)個人所得	0.3%	0.2%	0.5%



3. 要人コメント

メイレス伯財務相	来週には2017年度の財政収支黒字目標を発表する予定である
----------	-------------------------------

4. トピックス

- 本日は英国民投票のEU離脱選択後の市場に落ち着きが見られたことでポンドは続伸、リスク資産の買いも見られた。レアルは3.2980で寄り付いた後、直ぐさま本日の安値となる3.3000を付けるも、直後からリスク資産の買いにつられて一気に3.25台後半まで急上昇した。一時的に3.26台前半まで売り戻されるも、昨日のゴールドフィン伯中銀総裁のコメントからインフレ抑制のためにレアル高に進んでも中銀は介入しないスタンスであるとの見方が広がっており、レアルは高値を試す展開となった。結局本日の高値となる3.2200でクローズした。
- 5月の米個人消費支出は市場予想を下回り、2009年8月以来の大幅な増加率だった前月から伸びが鈍化した。
- 対ドルでのレアル高トレンドは他のエマージング通貨よりも強く、1ヶ月間で11%以上も上昇した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作権法により保護されており、当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。